

『もったいない』という本があります。これは、マータイさんが日本で見つけた言葉で、日本人が忘れていた言葉でもあります。マータイさんの考えを記したものがこの本であり、いろんな「もったいない」に気がつかれます。授業では、一度読みましたが、再び読み直して、生活の中の「もったいない」を見つけてほしいと思います。

肉や魚を食べるといことは、生きものの命をいただき、人間が生き延びる糧にすることです。ですから、決して粗末にはできません。日本人は昔から慈しみの心をもって、魚を頭、内臓、骨、皮まで、余すところなく食べてきました。しかし、今では漁師町の名物料理などではなく、お目にかかることはできません。

父親世代のレコード文化が、いままた注目されています。「退蔵」されていたレコードプレーヤーが、リユースショップやインターネットを通じて、再び若い世代に再利用されることは、文化の継承に加え、年間約100トン廃棄される粗大ゴミを減らすことにもつながります。

ゴミの約55パーセントが包装ゴミ。そこで、どんなものでもたった一枚で上手に包み込んでしまおう魔法の布、「風呂敷」を使いましょう。手に提げたり背負ったりと、包みを運ぶスタイルも自由自在。使い捨ての紙袋やポリ袋より、ずっとお洒落でエコロジカルです。

レストランや家庭では、毎日たくさんのお弁当が捨てられています。コンビニやスーパーでも、鮮度が落ちた、販売期限が迫ったからと、たくさんのお弁当や食料品を廃棄しています。本当は食べられたはずの食品が捨てられてしまう「食品ロス」。

日本では年間632万トンにも上ります。：：世界では、一日に8500人の乳幼児が、飢餓のために命を失っています。放置された一台の自転車を回収し、処分するまでに、およそ一万円もの税金が使われています。これを「もったいない」と思い、憤る心が、物を大切にしたり、最後まで使い切る行動につながるのです。

いまでは傘を修理してまで使う人はほとんどいません。なぜなら「使い捨ての傘」として初めから製造されているからです。江戸時代には、割れたお茶碗まで直してくれる「焼継屋」という職人がいました。使い捨て全盛の現代では、伝統の技も途絶えようとしています。実にもったいないことです。

日本の「きもの」は究極のリサイクル衣料です。糸をほどけば元の反物に戻るので、仕立て直して、親から子へ、子から孫へと何世代にもわたって着つけることができます。アロハシャツは、およそ80年以上前、ハワイに渡った日本人移民が、持っていった「きもの」を現地の気候に合ったシャツに作り替えたことにルーツがあります。

地球人口73億人のうち、22億人もの人々が、1日わずか2ドル以下のお金で暮らしています。かれらの生活には、携帯電話もエアコンもテレビも冷蔵庫も、ほとんど縁がありません。いっぽう、日本では、1年間に

236万台のエアコンと258万台のテレビ、280万台の冷蔵庫や冷凍庫が買い替えなど不要になり回収されています。

携帯電話など使用済みの小型家電には884億円分の貴重な金属が眠っています

毎朝、時刻を知るだけのためにテレビを点けっぱなしにしている家があります。

たとえば1000万軒の家庭が

朝の1時間、テレビを消せば、

4万2300キロリットルの石油と

9万60000トンのCO₂を削減できます

昔の小学生の筆箱に

必ず入っていたのが、

鉛筆ホルダーでした。

鉛筆を最後の最後まで

使い切るための知恵でした。

ものを大切にする習慣が、

こんなことから身についたのです。

日本には古くから

「お酌」という風習があります。

目上の人や年長者からお酌をしてもらうと、

「畏れ多い」という意味の

「もったいない」気持ちになるのです。

そんな感情も風化しつつあります。

日本製のトイレ製品には、

「大」と「小」によって使う水量を

節約する工夫がなされています。

それも当たり前のように。

しかし、世界にはこんな簡単な機能さえ付いていないトイレのほうが多いのです。

高校受験の日

お母さんがせっかく作ってくれた

お弁当を、電車の網棚に忘れしました。

こういふときの「もったいない」は、

お弁当というものを失った無念さよりも、

お母さんの真心を置き忘れてしまった

「申し訳なさ」なのです。

日本の家は、たいてい南側に

大きな窓があります。

本や新聞を読むとき、

手紙を書くとき、

昼間なら窓辺に居場所を

移してみましよう。

案外、電灯は必要ないものです。

もし、あなたが3か国語を話せて、

それを活かす仕事に就きたいのに

叶わなかったとしたら、

それは、宝の持ち腐れといって、

とても惜しまれることなのです。

「もったいない」は、物だけでなく、

人の能力にもいえることです。

学校に通うことのできない

5700万人もの子どもたち。

トイレを持たない9億4600万人の人々。

8億人以上の人々が極度の貧困に苦しみ、

全世界の失業者は2億人を超えています。

世界の国々が軍事費として使うお金は、

1年間に1兆6760億ドル。

毎年、その1割のお金があれば

地球上のさまざまな課題を

解決に導くことができるのです。

新登場
MOTTAINAI
プラネット・リンク 新
対象品あり

もったいない

ムニエル労働委員会で女子学生共産党議員大田 眞ツグが「もったいない」を日本でもっと広める

「もったいない=MOTTAINAI」
日本人の最高の
美徳に再び注目!

小池百合子都知事が東京五輪の
新たなコンセプトに掲げた「もったいない」。
今こそ日本人の思いやりの心をよみがえらせよう。

「もったいない」の美徳を日本各地で広げよう！

マゼンハウス 定価：1冊1000円(税別)